



2026年3月24日

各位

会社名 イオン九州株式会社
代表者名 代表取締役社長 中川 伊正
(コード番号：2653 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 常務執行役員 赤木 正彦
(電話番号 092-441-0611)

当社の親会社 イオン株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 吉田 昭夫
(コード番号：8267 東証プライム市場)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2025年4月11日に公表した2026年2月期の通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 2026年2月期(2025年3月1日~2026年2月28日)通期業績予想の修正について

(1) 連結

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	551,000	10,600	10,100	5,300	155.84
今回修正予想(B)	547,100	10,700	11,500	5,900	172.90
増減額(B-A)	△3,900	100	1,400	600	
増減率(%)	△0.7	0.9	13.9	11.3	
(ご参考)前期実績 (2025年2月期)	531,619	10,537	11,022	6,035	177.45

(2) 個別

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	543,000	11,500	11,100	5,800	170.54
今回修正予想(B)	539,700	11,700	12,500	6,400	187.56
増減額(B-A)	△3,300	200	1,400	600	
増減率(%)	△0.6	1.7	12.6	10.3	
(ご参考)前期実績 (2025年2月期)	528,135	11,435	11,926	6,520	191.72

(3) 修正の理由

個別業績については、当期においては今後の成長に向けた新規出店、既存店活性化を推進するとともに、物価高騰の長期化で高まる生活防衛意識への対応として、トップバリュベストプライスや当社独自企画「しあわせプラス（応援価格）」商品等、値ごろな商品の品揃えを拡充、ブラックフライデーセールスやアプリクーポン企画等の販促施策強化により需要を喚起してきたことで、売上構成の高い食料品の売上が堅調に推移し、既存店の売上高前年同期比は 103.1%となりました。一方で、実質賃金がマイナス基調で推移する中、食料品の物価高騰に伴う消費行動の変化から衣料品・住居余暇商品の売上が苦戦したこと、新規出店の当初計画からの遅れ等により、営業収益は当初計画比 99.4%、前期比 102.2%となる見込みです。

利益面では、お客さまの節約志向に対応するために生活応援施策を戦略的に強化したことや利益率が比較的高い衣料品・住居余暇商品の売上が伸び悩んだこと等で売上総利益率が前期に比べ 0.2 ポイント低下しましたが、売上高の伸長により営業総利益は前期比 101.6%となりました。また、経費面では、人的資本投資を積極的に実施した結果としての人件費の増加、既存店活性化や店舗 DX 投資の推進等、各種コストの増加があったものの、店舗特性に合わせたレジ構成の見直しや電子棚札等の店舗 DX 投資、省力化什器の積極的な導入による生産性向上の取り組みを継続、人時生産性が前期比 104.7%と改善できたこと等により、販売費及び一般管理費は前期比 101.5%におさめることができました。これらの結果、各段階利益は当初の計画を上回る見込みとなりました。

なお、連結業績についても個別業績と同様の理由です。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上